

地域医療支援病院業務報告要旨

I 概要

病院名	フリガナ	シンゾウ ヒート ユウセンター-サキハ ラヒ ユウイン
		心臓病センター榊原病院
所在地		岡山県岡山市北区中井町2丁目5-1
管理者氏名		院長 榊原 敬
承認年月日		平成19年10月2日
業務報告書提出日		令和7年9月11日

II 業務報告

対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
------	--------------------

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	紹介率 65 % 超、逆紹介率 40 % 超	
紹介率	$\textcircled{1} / (\textcircled{2} - (\textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{5})) \times 100$	67.4 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	6,845 人
	②初診患者数	11,513 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数（初診に限る）	1,080 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診に限る）	281 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数（初診に限る）	0 人
逆紹介率	$\textcircled{7} / (\textcircled{2} - (\textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{5})) \times 100$	80.2 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	8,149 人

2 共同利用の実績

高額医療機器共同利用件数	140件
共同利用病床数	5 床
共同利用病床利用率	79.2%
共同利用施設・設備	病床、CT検査、MRI検査、シンチグラム、胃内視鏡検査、超音波検査（心臓、頸動脈、腹部、下肢、経食道）
登録医療機関数	82機関

3 救急医療の提供の実績【（1）又は（2）のどちらかを選択すること】

（1）救急患者数

救急搬送による救急患者数	1,653人（1,190人）
救急搬送以外の救急患者数	2,361人（777人）
合計（うち初診患者数）	4,014人（1,967人）

※括弧内は、入院を要した患者数

(2) 救急医療圏（2次医療圏）人口における救急搬送患者数割合

A：救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数 (初診患者のみ)	人
B：救急医療圏（2次医療圏）人口※	人
C： $A/B \times 1000 > 2$	(小数点第1位まで記入)

※2次医療圏人口に関しては総務省統計局により実施された直近の国勢調査の人口（該当2次医療圏における市区町村人口の総和）を用いること。

(3) 救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	2台
---------------	----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	・当院における脳卒中診療 ・大動脈瘤について ・感染対策の超基本、手指衛生を10倍にする方法 他	
地域の医療従事者への実施回数		15回
合計研修者数 ※院外からの延べ参加人数		601人
研修体制	研修プログラムの有無	有
	研修委員会の設置の有無	有
	研修指導者数	14人
研修施設	診療棟2階大ホール、診療棟2階中ホール、リハビリ棟4階ホール1	

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	院長	
管理担当者	事務長（病院の管理及び運営に関する諸記録）	
	地域医療連携室職員（病院の管理及び運営に関する諸記録）	
	医事本部長（診療に関する諸記録）	
診療に関する諸記録の保管場所		診療録：診療録管理室 その他：該当部署
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	地域医療連携室
	救急医療の提供の実績	防災センター
	地域医療従事者向け研修の実績	地域医療連携室
	閲覧実績	事務室
	紹介患者に対する関係帳簿	地域医療連携室、事務室

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	院長	
閲覧担当者	事務長、医事本部長	
閲覧に応じる場所	応接室、外来診察室、病室	
前年度の総閲覧件数		35件

閲覧者別延べ件数	当該病院に患者を	医師	0件
	紹介しようとする	歯科医師	0件
	地方公共団体		4件
	その他		31件

7 委員会の開催実績

委員会の開催回数	4回
委員会の概要	①2024年4月11日 ・紹介患者の受入れ（紹介率、逆紹介率）、救急医療の提供（救急搬送数）、施設・設備の開放（共同利用件数、開放病床利用率）、地域の医療関係者に対する研修、在宅医療の支援、医療機関に対する情報発信の実績報告 ・生活の見通しにつながるリハビリテーションについて 等 ②2024年7月18日 ・紹介患者の受入れ（紹介率、逆紹介率）、救急医療の提供（救急搬送数）、施設・設備の開放（共同利用件数、開放病床利用率）、地域の医療関係者に対する研修、在宅医療の支援、医療機関に対する情報発信の実績報告 ・地域医療を支える手指衛生について 等 ③2024年10月10日 ・紹介患者の受入れ（紹介率、逆紹介率）、救急医療の提供（救急搬送数）、施設・設備の開放（共同利用件数、開放病床利用率）、地域の医療関係者に対する研修、在宅医療の支援、医療機関に対する情報発信の実績報告 ・おくすり手帳活用方法について 等 ④2025年1月16日 ・紹介患者の受入れ（紹介率、逆紹介率）、救急医療の提供（救急搬送数）、施設・設備の開放（共同利用件数、開放病床利用率）、地域の医療関係者に対する研修、在宅医療の支援、医療機関に対する情報発信の実績報告 ・在宅復帰へむけて地域包括ケア病棟での取組について 等

8 患者相談の実績

相談を行う場所	相談窓口、相談室、病室
主たる相談対応者	医療福祉相談室職員（社会福祉士）、専従退院支援担当社会福祉士、専任社会福祉士
相談件数	11,771件
	①医療費相談援助 ・手術・治療に係る医療費説明、自立支援医療制度や特定疾患医療制度等の紹介・活用、支払い困難な場合の貸付制度等の説明・活用 ②医療費以外の制度活用 ・身体障害者手帳取得等の相談、障害年金、生活保護、傷病手当金等経済的な相談援助 ③心理的問題の相談援助

相談の概要	・入院・在宅生活での不安に対する相談援助、社会資源の紹介・利用 ④転院・退院援助 ・リハビリ病院や療養型病院、緩和ケア等適切な転院先の紹介、調整（後方支援となる医療機関を訪問し、情報収集と連携を図る。多職種と連携し、退院困難者へ早期に介入・支援を行う。） ・介護に関する相談、介護保険の説明や介護サービス利用の調整、施設入所に関する相談援助、自宅退院に向けて院内外の担当者と連携し、退院前訪問、退院後訪問指導等の実施（社会資源の活用、担当ケアマネージャーや事業所との地域連携を図る。）
-------	---

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組（任意）

（１）病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	無
評価を行った機関名、評価を受けた時期	

注）医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

（２）果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有
情報発信の方法、内容等の概要	・ホームページにより、症例数や治療説明等の情報発信 ・毎月、地域医療機関（約500箇所）に外来診療担当表を送付 ・病院前に大型モニターを設置し、院外に向けての情報発信 ・季刊誌「さかきばらNews」（年2回発行）を地域医療機関、外来患者へ配布 ・院内研究発表会の内容を編集した「病院雑誌」（年1回発行）を地域医療機関、消防局、大学、図書館へ送付 ・年2回（6月、12月）、医師が地域医療機関を訪問し、広報及び意見交換を行う

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無		有
退院調整部門の有無概要	・専従の社会福祉士、専任の社会福祉士及び保健師が担当し、入院時のスクリーニングシートを用いて退院困難な要因に該当した場合、入院早期に介入し、各担当スタッフにてカンファレンスし退院支援計画を立案、患者やその家族に計画書を説明、交付し、計画に基づいて退院支援を行う。 ・必要に応じて、リハビリや療養ができる病院の紹介や転院相談、日程調整、施設の紹介や入所、再入所の調整を行う。介護保険申請が必要なのに未申請の場合は、制度紹介や申請手続きの支援を行う。担当ケアマネージャーがいる場合は、早期に連携を取り、スムーズに介護サービスが再開できるよう情報共有し、必要に応じて退院前カンファレンスの開催や退院前・退院後に患者宅訪問し支援する。	

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定		有
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	①策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 ・急性心筋梗塞医療連携パス、心不全パス ②地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み ・急性心筋梗塞地域連携パス、心不全パスは計画病院として、他の医療機関と協力して地域の医療従事者に対して、研修会を主催。胃がん・大腸がん・肝がんパスに維持期として参入している。	

病院名

心臓病センター榊原病院